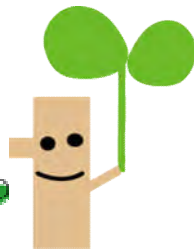


平成22年度

# 親サポ

～みんなで、一緒に考えよう～

## 2月報告



日時：平成23年2月19日(土)

テーマ：『若者を知り、話す』

講師：福仁会病院 臨床心理士 田中 伸晃 氏

平成23年2月19日(土)の親サポには、16名の方にお集まりいただきました。

田中先生は、精神科・心療内科の病院に勤めていて、サポステでの活動の経験も持っています。その経験から、若者の文化、若者が好んでいるコミュニケーションを取り上げて、話を進められました。

まず、携帯電話についての話は、身近なようで知らない携帯の使い方を知り、若者が携帯をたくさん使っていることに驚いた方が多いようでした。また、親からのメールでありがちなことランキングで、「改行をしていない」という結果には苦笑いされている方もいらっしゃいました。

そのあと、アニメ、ゲーム、インターネットといった、若者が使うコミュニケーションがたくさん紹介されました。鉄人28号が出てきたところは「ホッ」としたところでしたが、「エヴァンゲリオン」、「ミクシィ」といった言葉には？マークがたくさんついていたように感じられました。会場からも、「若者の文化を一緒に理解するのは難しい」という声但实际上に聞かれましたが、田中先生は、「世代が違うので、理解できないのは当然、理解できないという親の立場はそのままでも、理解しようとする姿勢が大切」といった内容の話をされました。

田中先生はそういった若者文化を紹介しながら、「若者の好むコミュニケーションは対面でなく文面」、「『人嫌い』ではなく、『人と〇〇するのが嫌い』」なので、その個人の〇〇するを明らかにすることが大事、人が嫌いなわけではない人もいる、「若者は世間話の習得が必要、周囲の支援者は若者が好むものを知ることが必要」といった点を強調して話されていました。

最後に、ロールプレイの時間を設け、「我が子の興味のあることを引き出す」ことをテーマに、親役、子ども役、観察者役の三者に分かれて、実際のやりとりを練習してみました。親役の方をみると、我が子の興味あることを上手に聞き出そうと一生懸命な姿が見られました。また、子ども役の方からは、「子どもの立場になってみて初めて、子どものことを理解していなかったことに気づいた」という発言があり、会場の皆さんは感動し、うなづきながら拍手を送る様子がありました。

質問コーナーでは、「祖父母・親・子ども間の三世代のコミュニケーションについて」といった難しいテーマも質問されました。田中先生は「世代が違うので、全くお互いのことがわからず、子どもは祖父母の『言葉』以上の優しさを受け取れない。親世代が『言葉』を翻訳することは一つの方法」と話していました。今回は質問がとても多く、活気ある議論を展開することができました。若者の文化、若者の心理が反映された内容だったと思われます。



### 参加された皆さんの感想

- \* 子の接し方、見方が私はまちがっていたように思います。
- \* 親の子供への対応について勉強になりました。
- \* 他の親の方と話しが出来て良かったです。同じ考えの人と話が出来て良かった。

# 平成23年度 親サポ (親のためのセミナー)

～みんなで、一緒に考えよう～



ふくい若者サポートステーション「サポステふくい」では、若年無業者の方への就労支援を行っています。ご本人への支援はもちろんのこと、ご本人を支える親御さんの方々への支援も行っております。

今年度も、毎月第3土曜日に固定して、セミナーを予定しております。引き続き、講師による講話の他、グループワークや参加者同士の交流会など、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。

「親子はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？

ぜひ、ご参加ください。



- 対 象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方  
定 員：20名  
場 所：福井県社会福祉センター2階（福井市光陽）  
実 施 日：毎月第3土曜日 午後（予定）  
内 容：講師によるセミナー50分・グループワーク50分  
          リラックスタイム（フリー交流会）30分  
予約方法：(0776) 21-0311

事前にふくい若者サポートステーションまでお電話下さい。

## 【お問い合わせ】

ふくい若者サポートステーション 『サポステふくい』

〒910-0026 福井県福井市光陽2丁目3-22

福井県社会福祉センター 2F

TEL：0776-21-0311

